

# 島弧マグマ活動の研究

山形大学理学部  
地球環境学科  
教授



伴 雅雄

専門分野

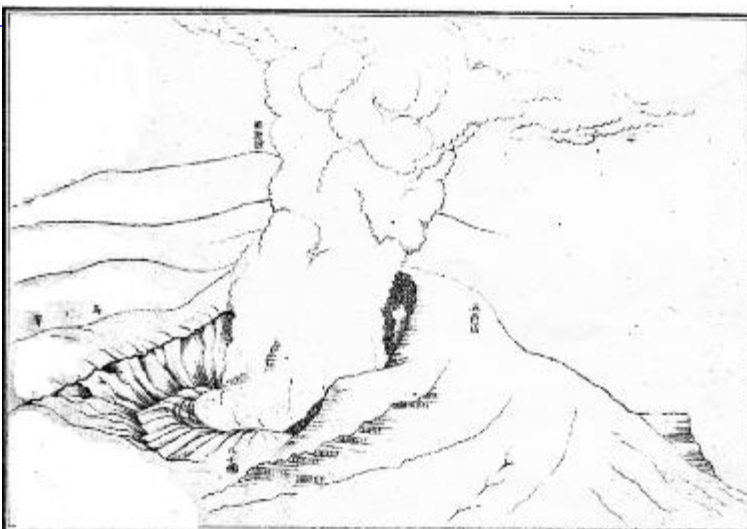
火山学

キーワード

マグマ、火山、噴火史、島弧、テクトニクス

研究紹介

蔵王山、  
明治28年  
の噴火の  
スケッチ  
(巨智部、  
1896)



火山噴火は、我々に地球内部の熱エネルギーのすさまじさを最も身近に実感させる現象です。世界でも有数の火山国である日本では、このような火山噴火に関する研究およびその災害軽減の取り組みが活発に行われています。私たちの研究室では、蔵王、鳥海、吾妻などの東北地方を代表する活火山について研究を進めており、その結果、様々なことが明らかになってきました。

相談・要望に応じられる分野

- ・出張講義---蔵王山などの噴火史・マグマ活動に関するもの。
- ・講演会講師---マグマの発生～噴火に関するもの。

研究内容関連・利用設備・装置関連

## 1. 研究内容関連

蔵王山はここ約2千年間、五色岳付近を噴出中心とした活動を続けています。五色岳の形成当初、火口は現在の御釜より東方にあり、それが御釜付近に移ったのは約千年前と推定されます。噴火は多数回繰り返されていますが、それはマグマ水蒸気爆発・水蒸気爆発が主体でした。おそらく常に火口湖が存在し、地下から上昇してきたマグマとその水が接触し、あるいはマグマによって水が熱せられ、爆発的な噴火を起こしたのでしょう。

この約千年間、およそ百年に1回、噴火しており、最新の噴火は西暦1940年に起こっています。現在、噴火の兆候は全くありませんが、噴火頻度を考えるとそろそろ活動時期に入る可能性は十分にあります。

## 2. 利用設備・装置関連

EPMA, XRF, ICP-MS など

■ 連絡先(FAX:023 - 628 - 4661)

■ [http://yudb.kj.yamagata-](http://yudb.kj.yamagata-u.ac.jp/OUTSIDE?ISTActId=SCHKOB0010RIni001&userId=631&lang_kbn=0)

[u.ac.jp/OUTSIDE?ISTActId=SCHKOB0010RIni001&userId=631&lang\\_kbn=0](http://yudb.kj.yamagata-u.ac.jp/OUTSIDE?ISTActId=SCHKOB0010RIni001&userId=631&lang_kbn=0)